

2022年12月16日
九州電力株式会社
記録情報マネジメント株式会社
九電ビジネスソリューションズ株式会社

九電グループ ドキュメント電子化サービスの提供開始について

— DX推進の第1歩、企業の「ペーパーレス化」を九電グループが後押しします —

九州電力株式会社（本店：福岡市、代表取締役社長執行役員：池辺 和弘）と記録情報マネジメント株式会社（本店：福岡市、代表取締役社長：田中 正勝）および九電ビジネスソリューションズ株式会社（本店：福岡市、代表取締役社長：犬塚 雅彦）は、3社合同で2023年1月から「九電グループ ドキュメント電子化サービス」の試行運用を開始し、4月から本格的に提供を開始いたします。

本サービスは九州電力が企画し、記録情報マネジメントが提供する記録情報管理のワンストップサービスと九電ビジネスソリューションズが提供する電子文書保管システム等を融合し、DX化を推進する上で欠かせない各企業のペーパーレス化を後押しします。

記録情報マネジメントは、本サービスの提供拠点として福岡市の中心地から7kmの好立地に新たな施設（仮称：DX促進センター）の建設を予定しています。同施設では、お客さまからお預りした紙文書のリスト化から保管・廃棄までのライフサイクル管理に加えて、紙文書のスキャンからスキャンしたデータの整理・インデックス付与・システム登録までのデジタル化機能を提供いたします。

九電ビジネスソリューションズは、改正電子帳簿保存法の要件に対応した「電子文書保管システム」や各企業間の契約手続きを電子化する「電子契約保管システム」、大容量ファイルの企業間の授受を円滑化する「大容量ファイル共有システム」などペーパーレス化に資するシステムを提供します。

今後も、3社は各企業のDX化に貢献する新たなサービスを創出し続け、「九電グループ経営ビジョン2030」に掲げる「九電グループの更なる進化」を図るとともに、ペーパーレス化でCO₂を削減し、カーボンマイナスに貢献します。

以 上